

<p>7月の管理</p> <p>大鉢への定植(管物8号) 厚走り・(厚物 9号) (増す土用竹)→根詰まり 防止3ヶ所へ (胴切り7月20~8月5日) 柳芽防止・天地人の調整 福助挿し芽7月1日~</p>	<p>① いよいよ大鉢への定植です。中鉢から移植して25日~30日たつと鉢じゅう根が張り詰めるので、根詰まりする前に大鉢に定植する。7月5日~月末までが適期</p> <p>② 定植用土大鉢に移したら水やらず日陰へ翌日根元だけに3~4日たつてから正常に朝1回たっぷり水やりする。</p> <p>③ 梅雨が明けると8月いっぱい乾燥期になりますので灌水は毎日1回たっぷり行います。肥料も充分施肥します。</p> <p>④ 気温が高くなると日中だけ日よけをしてやると、容姿が美しく成長する(11時頃から4時頃までスダレ等で)</p>
<p>8月の管理</p> <p>増す土 8/15~5回 10日毎竹棒を抜き隙間に定植用土を入れる。棒で突つき空気を入れる。 8/15・8/25・9/5竹抜き 9/15・9/25上根増す土</p>	<p>① 定植日の施肥から15日後に1回目必ず肥料が隠れる程度に新しい用土で覆土しておく。15日間隔で追肥(私は、国華園の乾燥肥料 N-P-K-Mg8:6:6:1)</p> <p>② 柳芽が発生するものがあるので見つけ次第摘み取り、葉脇の側枝を心に立て直し支柱に添えて結わえておく。</p> <p>③ 増す土は、根詰まり防止 上根増す土は、上に根が張ってくるので、薄く土を盛る。</p> <p>④ 8月下旬~9月上旬にかけて液肥をどんどんやると大輪になる過肥は禁物。</p> <p>⑤ 止め肥 厚物8/25~30まで 管物 8/10~20頃まで</p>
<p>9月の管理</p> <p>つぼみの選定 肥料調整(苦土石灰) 花肥→PK 液肥 (肥料調整)</p>	<p>① 今月初めから10日頃にかけて^{しゅつがい}出蕾し、管物は少し遅れて5日過ぎから15日過ぎ頃までに出蕾するので咲かせる蕾を選ぶ。下旬までには、厚物は1個に管物は2個にする。</p> <p>② 水は、朝夕2回(朝は7時位まで夕は6時以降にたっぷり)日中は×</p> <p>③ 苦土石灰は9/10日、9/20日2回大さじ1を3か所にやる。</p> <p>④ PK 液肥9/10日~10月半ばまで週2回(花の様子を見て)→PK 液肥 1,000 倍やる。</p>
<p>10月の管理</p> <p>輪台取り付け時期 →</p> <p>厚走りは、直径 12~15 cm 厚物は、直径 9~12cm 管物は、直径 15~21cm</p>	<p>① 厚物と厚走りは、外側の花卉が倒れ始める頃(10 月半ば)管物は七、八分咲きになった頃(10 月 25 日頃)につけるのが一般的です。</p> <p>② 輪台下げを必ず励行する事。</p> <p>③ 水やりは、7 分咲になるまで多く与え、それ以降は控えめにする。夕方水やりは厳禁。</p> <p>④ 蕾が破蕾してからしばらくの間は、害虫(ナメクジ・ヨトウ虫)注意深く観察し異常のある花卉を見つけたら、早めに抜き取る又花には手を触れないように、手を洗ってから手入れする。</p> <p>⑤ 蕾が着色し、いよいよ花卉が開き始めたら軒下に取り込みます。夜露に当てない。</p>
<p>11月の管理</p>	<p>① 満開近くなったら、水やりはしおれない程度にやればよい。月末には根元から20cm残してカット(来年に備えて)</p>
<p>12月の管理</p>	<p>① 菊の株は主茎が枯死し株元に芽(冬至芽)が発生します。</p> <p>② 鉢のまま越冬する場合灌水は、10 日に 1 回行い肥料は与えず管理します。</p>

今迄 6 年間学んできたことを表にまとめてみました。やり方もいろいろあるようなので、迷いましたが、少しでも参考になればと思います。

令和 2 年 4 月

松井富子